

語学研修 修了報告書

参加プログラム	インディアナ	国名	アメリカ	イニシャル	AM
学籍番号		学科	英語英文	研修時の学年	1年
留学期間	2019年	7月	～	2019年	7月
				記入年月日	2020年 4月 12日

① 研修前について

研修の準備について教えてください。

出発前:	参加意思決定	2019年	4月	日頃
	ビザ申請(あれば)	年	月	日頃
	ビザ交付(あれば)	年	月	日頃
		年	月	日頃
		年	月	日頃

準備・手続きについての感想や、今後参加を希望する学生にアドバイスがあれば教えてください。

手続きに関しては、ESTAに注意が必要だと思いました。私は旅行会社に代行を依頼せず、自分でやってみることを選択しましたが、手探りだったので、ホストファミリーが決まる前(つまり現地での滞在先が決まる前)に申し込みをしなくてはならないことから、そこを空欄にしたまま申し込みが可能なのかなど不安なことはありました。ですが、難しくはないのでせっかくですから自分で申し込みチャレンジしてみたい事をおすすめします！

日本から持参すべきと思ったものはありましたか。

晴れると日差しが強く、外を歩くアクティビティが多いので、サングラスがあるといいです。私は現地のショッピングモールで買ったので、それでもいいと思います。加えて、建物の中や家の中がかなり寒いことがあります。さつと羽織れるパーカーなどがあるとよいかもしれません。私はなかったのですが、大学の中のお土産店でIUPUIのロゴの入った裏起毛のブルオーバーを買いました。また、貴重品を入れる小さなポシェットを持っていくのはおすすめです。

研修前にしておいてよかったことや、しておけばよかったことはありましたか。

私と、同室の友達は幸いどちらも茶道の経験があったので、少しのお道具とお抹茶、お茶菓子、浴衣を日本から持参し、現地で最終日にお礼としてホストファミリーに浴衣を着せてお茶を点てました。日本の文化を披露できると喜んでもらえると思います。留学生を受け入れ慣れているホストファミリーの方も多いため、一風変わったものを披露できるようになっておくとなおよいかもしれません。しておけばよかったと思ったことは、速いスピードのリスニングに慣れておくことです。学校の外国人の先生や、日本にいる外国の方はゆっくり英語をしゃべってくださっていることが多く、それが聞き取れることで安心していただけました。私は現地であまりにも聞き取れず焦ってしまいました。渡米前から、海外YouTuberの動画を見ておくなど、トレーニングをすればよかったです。

英語のスピーキング能力を上げることと、コミュニケーション能力を上げることです。私は中学生の時オーストラリアに短期留学したことがあり、そのときホストファミリーの人やホストシスターの友達とあまりコミュニケーションをとれず、仲良くなれなかったのが、リベンジのつもりで臨みました。

② 研修先でのオリエンテーションについて

研修先でのオリエンテーションはどういった内容だったかをお書きください。

--

③	プログラムについて
研修場所の環境、治安、設備について教えてください。	
インディアナ大学はとても大きくて、きれいで、大学の中にプレイルームや様々な食べ物屋さんがあって、日本の大学との規模感の違いに驚くほどでした。また、学生もとても親切で、知的で、成熟した品のある雰囲気の人が多いように感じました。授業の一環でキャンパス内を歩いている見知らぬ学生にインタビューしましたが、皆忙しい中でも親切に回答してくれましたし、conversation partnerの生徒の皆さんもびっくりするくらい親切でした。町の治安はいいと思います。	
現地学生との交流について教えてください。	
人によりますが、私のconversation partnerは友達が多い人だったので、私は彼と彼の友達たち、その彼女などたくさんの人と友達になり、彼らと授業後にたくさんの方のところに行きました。また、ほかの人のconversation partnerとも交流する機会がプログラムの中にたくさんあるので、彼らとも友達になって放課後出かけました。帰国後も彼らのほとんどとSNSでつながっているため、たまに連絡を取りあっています。特に、私はconversation partnerと大変仲良くなり、今では彼は何でも相談できる兄のような存在です。	
授業の感想	
日本の現状について英語で学ぶのが主で、議題が親しみやすいものが多かったのが楽しながら授業をうけることができました。ディスカッションをしてグループで発表したり、個人でスピーチをしたり、英語を使ったゲームをしたりなど、バラエティに富んだ内容でした。課題が大変という噂を聞いてこのプログラムは若干敬遠されがちなところもありますが、だからこそほかの参加者の皆さんもやる気があり、勉強熱心で刺激を受けました。課題が大変とは言いますが、津田の授業と同じ感じなので大変だとは特に感じませんでした。ただ、旅行の感覚でくるとちょっと大変かもしれません。私はパソコンの操作が苦手な自信がなかったので、パワーポイントを使って各自で発表する機会もあると聞き渡米前は不安でしたが、現地で先生に教えていただいたので大丈夫でした。逆にそこでPCの操作をいろいろと覚えたので帰国後の授業で役に立ったほどです。ですが、渡米前に最低限のPC操作はできたほうが余計な心配をしなくて済みます。また、将来の夢について考えるワークショップや、ビジネスメールの書き方講座、雑誌編集部の訪問もあり、予想よりも実践的で充実した授業内容だったように思います。中国人留学生の皆さんにプレゼンする授業がかなり面白い体験でした。	
授業以外の部分についての感想	
アクティビティはとても充実しています。日本語クラブの人と交流する寿司ピザパーティーに、アウトレットモールや老舗アイスクリームショップ訪問、動物園や美術館の訪問、中心地のツアーなどがありました。これらのアクティビティを通してほかの生徒さんのconversation partnerたちと交流できました。毎日のように楽しいことが待っていて、忙しかったですが、すごく充実していました。ホストファミリーとは、買い物、ダンスパーティー、食事(ピザを作ったり、エチオピア料理を食べたり)、トランポリンの施設などに行きました。ホストファミリーは家で時々ホームパーティを開いていて、ホストファミリーのお友達ともお話ししました。conversation partnerやその友達とは様々なショッピングモールや食事に行き、中心街と一緒に満喫したり、家でBBQもしました。本当は川下りもする予定でしたが、風邪をひいたのでキャンセルしました。インディアナポリスの中心にあるモニュメントの周りや用水路のほとりで、夜、彼らと走ったり踊ったりしたことを今でも鮮明に覚えています。	
④	研修先での危機管理について
ご自身の身を守るために、気をつけることや、意識したことがあったら教えてください。(例: その国(州)独特の法律やルール等)	
日本よりは治安はよくないと考えて、スリや強盗に合わないよう貴重品を小さなポシェットに入れて肌身離さず持ち歩いていました。また、バスの中や街中で現地の人に話しかけられることが何度かありました。(ネイル素敵だね、など) そんな時は、一応警戒しました。また、買い物をするときクレジットカードを使うのですが、極力さっさと出して支払いがおわったらさっさとしまうようにホストファミリーに言われました。	
研修校先の担当者から、危機管理について特にアドバイスされたことがあれば教えてください。	
危機管理の観点から、病気等を含め、何かトラブルはありましたか。あった場合、どのように対処しましたか。	
軽い風邪をひきました。ホストファミリーに気を遣って寒くても空調の温度を上げてほしいと申し出なかったからです。ですが、よく食べてよく寝たら治りました。	

⑤ 研修先での生活について

どのような住まいでしたか。

地下付きの2階建てで、トイレ付きユニットバスが2つありました。一階には大きいリビング、キッチン、食卓のある部屋、ホストファミリーの趣味の部屋、物置があり、二階には私たちに貸して下さったゲストルーム、ホストファミリーカプルの部屋がありました。地下は洗濯機が置いてあるかなり広い物置スペースになっていました。私たちの部屋には一人ずつにベッドがあり、窓があるため光が入り、比較的開放的な雰囲気のあるものでした。空調もついていましたが、ホストファミリーの部屋と一括管理だったため、少々我慢してしまいました。ホストファミリーの体温がたまたま高いのか、人種の違いがあるのかは不明ですが、とにかく寒く、私も、同室だった友達も滞在中かいる風邪をひきました。一括管理でも遠慮することなく申し出るほうがいいと思います。

暮らしてみた感想について教えてください。

空調が一括管理で気を遣わなければいけなかったこと以外は、すごく快適でした。部屋のプライバシーも適度に守られていましたし、家の中も清潔で開放的でした。人見知りの私にとって、全く知らない人といきなり一緒に生活するのは実はかなりストレスフルでしたが、食事もおいしかったですし、ホストファミリーの方々が優しくだったので徐々に慣れることができました。ホストファザーが若干アメリカンジョーク？皮肉？が好きな人で最初は真に受けてびっくりしましたが、慣れました。

食事について、何か感想があれば教えてください。

ホストファミリーの作ってくれる食事はどれもおいしかったです。アメリカの家庭料理をたくさん作っていただきました。また、エチオピア料理のお店にも連れて行ってもらいました。Conversation partnerにはハンバーガーのお店やちらし寿司のお店、アイスクリーム屋さんなどに連れて行ってもらいました。本場の少し高級なハンバーガーを食べることができて大満足です。

⑥ 研修先での金銭面について

実際にかかった費用を記入してください。(プログラム費、教材費、お小遣い、その他)

研修費用、飛行機、保険、オプションツアー費などの基本的にかかる費用は62万1850円、現地で使ったお金は、食費諸々込みで15万円弱です。私はアメリカの製品がすごく好きで、現地で様々なものを買ったため、実際に必要なお金はもう少し少なく見積もってよいと思います。

研修先の国の物価は高い/安いですか。買い物など便利ですか。

とくに高いとは感じませんでしたが、食事に関してはやや高いかもしれません。レストランに行くと食事をすれば15ドル位、普通にファストフード店で食事しても8~11ドル位になります。買い物は便利です。中心街のお店は充実していますし、バスも思ったより様々な場所に通じていますので自分たちでバスに乗ってショッピングモールに遊びに行ったりもできます。何か必要なものがあったとしても困ることはありません。

お金はどのように管理しましたか。(クレジットカード、現金等)

クレジットカードを主に使用しましたが、友達と割り勘するときのみ現金を使用しました。現金は1万円分持っていきましたが、実際に使ったのは5千円分位です。

⑦ 研修の成果について

今回の研修を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

学習面では、リスニング力、スピーキング力はもちろんのこと、ライティング力、リーディング力も上がったと感じています。上記の二つに関しては、渡米前には苦手だった英語での電話が、語学研修後には確実に相手の話に対する自分のレスポンスが速くなったり、かなり話せるようになったと感じ、好きになりました。また、好きこそものの上手なれ、といいますが、一か月アメリカの文化に触れ、文化を好きになったことで帰国後もアメリカに関するコンテンツを好むようになり、自然に興味で英語に触れる機会が格段に増えたためか、語彙力が増え、定着していった実感があります。後者に関しては、授業で鍛えられたことに加え、アメリカでできた友達とオンラインで会話することで文章力が上がりました。精神的には、英語に自信がついたことで何事にも積極的に became.

⑧ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

たのしいこと盛りだくさんのプログラムで最高なので、ぜひお友達をたくさん作って全力で勉強も遊びも楽しんでください！でも、体調を崩さないようにだけ気を付けてください。